



国スポ・全国障害者スポーツ大会の 見直しおよび開催に向けた支援の充実

- 滋賀をスポーツで元気にするとともにすべての人がともに支え合う共生社会を実現
- 滋賀の未来に負担を残さない大会を実現

1. 提案・要望内容

【提案・要望先】財務省、文部科学省

(1) 開催準備に係る財政的支援

- ますます需要が高まっている健康増進やスポーツの普及に資する大会として、十分な会場整備や大会運営を実現する上で、現下の物価高騰等の外的要因による開催経費の増嵩を緩和するべく、地方スポーツ振興費補助金を増額すること。

(2) 持続可能な大会運営に向けた支援

- 両大会の開催準備・運営に関する諸業務については、統括団体等（日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会、中央競技団体）が定める要領、ガイドライン等に基づき開催県が進めているが、さらに簡素化、業務の効率化が図られるよう、国におかれては、弾力的な運用について統括団体等に助言を行うこと。
- 日本スポーツ協会で行われている「3巡目国スポのあり方検討」について、都道府県の意見が答申に反映されるよう、国としても積極的な支援を行うこと。

2. 提案・要望の理由

(1) 開催準備に係る財政的支援

- 長期化するコロナ対策と人手不足、さらには原油価格・物価高騰等により開催に要するコストは増嵩傾向にある。特に、2025年は万博開催とも重なることから、持続可能な運営と経費抑制に向けて両大会の簡素化、業務の効率化に、より一層取り組む必要がある。

(2) 持続可能な大会運営に向けた支援

- 開催準備・運営業務について、記録業務のデジタル化、受付申込業務の手続きの簡素化、競技用具整備ガイドラインの見直し等、簡素化、業務の効率化が図られるよう、統括団体等と連携・協力した取組をお願いしたい。
- 「3巡目国スポのあり方検討」については、これまで都道府県に対するアンケート調査と当該報告書の公表があったところだが、大会を開催する都道府県の意見が十分反映されるよう、検討の場・時期の設定も含め、協会・団体と自治体とのコミュニケーションの促進に向けた国の積極的な支援をお願いしたい。

(本県の取組状況と課題)

(2) 持続可能な大会運営に向けた支援

① 持続可能な仕組みづくり

【見直したい事例】

記録業務、申込受付業務

・記録業務は日本スポーツ協会指定の「国体記録システム」により行われているところであるが、競技会場から記録本部へのデータ送信はFAXが使用され、記録本部においても紙ベースでの作業が見受けられる。デジタル化の検討も含めた総合的な業務コストの削減など、後催県の意見も踏まえた持続可能な仕組みへと改善していくべきと考える。

・申込受付業務は日本スポーツ協会所管の「国民体育大会参加申込システム」により行われるが、申込データの点検等を中央競技団体・開催県・会場地市町村の3者がそれぞれ行っており、確認項目や役割分担の見直し等による効率化を図るべきと考える。



記録業務の作業の様子

競技用具の整備

馬術競技の六段障害飛越のような特別な競技大会において整備が求められる競技用具や、サッカーゴールについても独自のガイドラインにより、他の全国規模の大会で使用しているものが使用できない事例があることから、「持続可能なスポーツ大会」を目指す上でも、中央競技団体による競技用具の整備、貸出しの仕組みづくりやガイドラインの弾力的運用について自治体とともに検討すべきと考える。



馬術競技の六段障害飛越

② 3巡目国スポのあり方検討

令和4年に公表された『3巡目 国スポ在り方に関するアンケート調査 報告書』では、大会の理念への意見だけでなく、費用の多くを負担する自治体の運営や地域住民の理解など、「持続可能なスポーツ大会」とする上でも重要な意見が見受けられたところ。

今後、あり方検討を進めていく上で、各開催県に対する検討状況の情報共有や検討の場への参画機会の拡充、そしてこれらを促すため、国からも積極的な後押しを頂きたい。

担当：文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会局 総務企画室 企画係 TEL：077-528-3333